

西条校区 タウンミーティング開催報告

【日時】令和6年1月12日（金）18：30～20：00

【場所】西条公民館

【参加者】地域：16人（西条校区連合自治会長など）

市：3人（市長、産業経済部長、西条公民館長）

傍聴：2人

【テーマ】

- 1 西条まつりの観光整備と文化の継承
- 2 西条市のPR方法について

概要

【自治会長挨拶】

災害が少ないということをはじめ、西条に住んでいること、また市長や地域の皆さんと直接話せる機会があることがありがたく、これからも助け合っていくことが大事であると思う。

参加者の発言要旨

市の発言要旨（及び対応）

1 西条まつりの観光整備と文化の継承

より多くの観光客に西条まつりを知ってもらい、楽しんでほしい。

そのためには見どころのひとつである10月16日の御殿前には、仮設トイレの整備が必要だと思う。

そして、トイレマップ等の情報を発信すればいいのではないか。

西条まつり開催時には、毎年仮設トイレの設置場所や数の見直しをしているが、利用者の大半である担き夫も含めて、設置場所についてより周知を徹底する必要があると思う。

うちぬき公園のトイレは、消防団の詰所を整備する関係で撤去予定であるが、市役所庁舎のトイレも開放しているのでぜひ使用してほしい。

マップについては、「西条まつり交通規制案内図」を毎年作成しており、このマップの中でトイレ設置場所についても表示している。チラシだけでなく、市HPやSNS等でも発信しているので、活用してもらいたい。

御殿前周辺に駐車場を整備してほしい。大型バスの駐車スペースがあれば、観光客に一番の見どころである御殿前での差し上げを堪能してもらえと思う。

観光客だけでなく大勢の地元の人も御殿前での差し上げを見物している。

しかし、当日は長時間、周辺道路に規制がかかっているため、仮に駐車場を確保するなら、産業道路より北側（規制区域外）の土地になるだろう。

行政は西条まつりを観光事業として扱わないのか。

観光客誘致やまつりを案内できる観光ガイドの整備等についてどのように考えているか。

西条まつりは「神社氏子の祭り」という認識があるが、行政としても西条市が誇るものとして多くの人に知ってほしい、見てほしいという気持ちがある。

観光事業として捉えているからこそ、西条まつりのポスター作成、仮設トイレや河川敷の駐車場の整備等を行っている。また、10月15日と16日は西条駅前物産販売も行っている。

観光ガイドについては、市民の皆さん自身もガイドになり得ると思う。例えば知り合い等5～6人を対象に西条まつりを案内できるのではないかな。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
	<p>既にガイドツアーを企画し活躍している人もいる。また、観光物産協会でもガイドを実施している。</p> <p>「株式会社ソラヤマいしづち」では、モニターツアーを実施し、事前に西条に来て「まつりの予習」を行い、本番の2日間で、実際に屋台について回るような担き夫体験をしてもらった。西条まつり開催後も交流は続いている。</p> <p>色々な形で西条まつりに触れてもらって、また来たいと思ってもらいたい。</p>
<p>観光客の担き夫体験は、具体的にどのような仕組みなのか。今後、そのことに関して案内はあるのだろうか。</p>	<p>観光庁の実証事業を受けて実施したもので、いろいろな体験をしてもらう形で西条市に人を呼ぶことができると思い、今年度予算化した。</p> <p>様々な分野で活躍する魅力ある人材を「キャスト」と呼び、キャストになってくれる人を今後募集することを考えている。例えば、あるキャストの彫りの技術、手すき和紙の技術を見てもらいたいという感じで、キャストの登録ができるような仕組みを考えている。今回のような担き夫の確保にもつながると思う。</p> <p>西条に何度も来てもらえるような「新たな観光」として進めていきたいと考えている。</p> <p>市民の皆さんに改めて案内するので、ぜひ検討してもらいたい。西条市に毎年来てもらえるよう波及していくことを目指していく。</p>
<h2>2 西条市のPR方法について</h2>	
<p>西条市のPR内容は何か。どのように発信しているのか。</p>	<p>情報発信は、まちのプロモーションだけでなく、観光振興や移住推進、ふるさと納税にもつながっていくので、「愛媛県西条市」の知名度を上げ、PRすることは非常に大切であると考えている。</p> <p>「LOVE SAIJO」を合言葉に、外向きの「アウトプロモーション」と広報紙のような内向きの「インナープロモーション」を使い分けながら、情報発信や交流を積極的に行っている。</p> <p>移住について、全国でランキング入りしたことを情報発信すると、マスメディアで取り上げられる機会も増え、都市部の移住セミナーにおいても、西条市のブースに大勢人が来てくれた。</p> <p>どのように発信していくかという点は、ターゲット層を絞りながら発信していくことが効果的であると考えている。</p>
<p>西条市のこういったところが評価を受けているのか。</p>	<p>水と祭りと石鎚山は定番のものとしてあるが、そこから派生して絹かわなすや柑橘等の農産物、お酒なども県外の人から好評である。</p> <p>祭りは行事としてだけでなく、伝統や豪華絢爛な彫り物などの技術にも光が当たっている。</p> <p>ソフト面では「チャレンジできるまち」を掲げており、市民の皆さんのチャレンジを応援できるような、後押しできるような仕組みを考えていきたい。</p> <p>企業誘致もしっかりやっていく。進学等で西条を離れた子ども達が西条で働きたいと思い、戻ってきてもらえる環境づくりを進めていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>西条市の魅力の発信方法や共有の仕方、今後の方針を教えてください。</p>	<p>住んでいる人にとって当たり前のことが、実は（全国的にみれば）特別であることに気づいてない人が多いので、その部分は情報発信が必要だと思う。</p> <p>関東の知り合いに西条市の日本酒や柑橘を送るととても喜ばれる。アウトドアオアシス石鎚の指定管理者であるアウトドアメーカーのメンバーの来店者数は中四国一の多さだと聞いている。</p> <p>一度、西条市と関わる機会があれば、ファンになってくれる人が多いと感じている。</p> <p>ふるさと納税については、令和4年度8億7,000万円だったが、今年度は12月末時点で約7億円が集まっている。返礼品として、雑貨・日用品のほか、お米や柑橘などのリピートが多い。</p> <p>プロモーションにしてもふるさと納税にしても、どの自治体も取り組んでいることなので競争だと思っている。</p> <p>今回、情報発信がまだまだ足りていないことを感じた。丁寧に対応していくことで、西条市に住みたい、住み続けたいと思ってくれる人の増加につなげていきたい。</p>
<p>その他</p>	
<p>広報紙の表紙のタイトルがアルファベットになり、高齢者はなじみにくい。</p>	<p>平成30年5月号から広報紙をリニューアルし、若い世代の人にも手に取ってもらえるようなデザインに変更したので、ご理解いただきたい。</p> <p>今後もいろいろなご意見を参考にしながら、必要に応じて微調整を図る。</p>
<p>やすらぎ苑の建物が古く、待機している間も座る場所が少なくて困った。火葬炉についても綺麗にしてほしい。</p>	<p>今年度から待合棟の改修工事に入っている。</p> <p>また、令和6～7年度にかけて6炉ある火葬炉を3炉ずつ更新していく。</p>
<p>令和6年4月から公民館の閉室日が土日祝に変更になると聞いた。週末に利用する人にとっては大変不便である。</p>	<p>行政が抱える課題も増え、地域づくりやコミュニティ・スクールとの連携など公民館の果たす役割も増えてきている。より地域に近い存在として、職員同士や関係機関と協議・連携できるように環境を整える。</p> <p>土日にイベント等を実施する場合は、臨時休館日を設ける等に対応していく。</p>

＜開催の様子＞

